

# 令和4年度 学力向上を図るための授業改善推進プラン

府中市立府中第一中学校

教科：音楽		
生徒の学習状況	1年	実技に意欲的に取り組む生徒が多く、全体的に落ち着いて学習することができている。授業最初の発声練習では、自分たちで係が司会をしながら自主的に進めることが出来ている。また、指揮者として前に出ることなどが増えてきた。
	2年	落ち着いた授業態度で、前向きに取り組む姿勢がみられる。「表現」することに積極的な生徒が増え、指揮や伴奏も出てくる生徒が増えてきた。話を集中して聞く雰囲気があり、知識が定着している生徒が多い。
	3年	ほとんどの生徒が落ち着いて話を聞いたり、パート練習に協力して取り組んだり、前向きに取り組む姿勢がみられる。自らの学習状況を振り返りながら、表現技能の向上に成果を上げている生徒が多い。
現状の課題	1年	声を出すことに躊躇ったり、響きを感じることのイメージが低かったり、表現に対して一部課題がある。身体を使った活動を多く取り入れられるとよい。
	2年	前に出る生徒に偏りがある。パート練習は、課題を持ってリーダーを中心に主体的に進めることができるようになるとうい。
	3年	パート練習中の集中力に個人差がある。また、指揮者やパートリーダーの発言が画一的になってきた。
具体的な改善のための方策	◎主体的、対話的で深い学びの視点から	
	1年	指揮者やパートリーダーなど、授業の中で様々な役割をもたせながら、生徒同士が関わり合う活動の時間を増やす。また、クロームブックを使いながら、楽曲への理解を探求する話し合いの活動をもたせる。
	2年	単元の最初に提示するねらいをより明確にし、チェックシートを用いて確認させる。パートリーダー練習等を通じてリーダーを育て、パート練習の中で互いにアドバイスができるような活動の時間をより多くしていく。
	3年	具体的な課題がもてるように、楽譜に書かれている細かな内容にせまる話し合いやグループワークを行い、それに対する助言も深めていく。
	◎学びに向かう力等を育むための視点から	
	1年	今後も継続して目標を明確に示し、成果を上げていく。音程が難しい部分は繰り返し、課題意識を共有しながら自信をもって声を出せるように工夫する。
	2年	楽譜に気づきや課題を書き、しるしをつけるなど課題の明確化をはかり、目標を持って取り組む姿勢をつけていくよう指導する。
	3年	目標を明確に示し、生徒同士が関わり合いながら協力する活動を支えていく。また、上級生として合唱祭を成功させようとする力を育む。